

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	世界トップレベル研究拠点プログラム			担当部局庁	研究振興局		作成責任者
事業開始年度	平成19年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	基礎・基盤研究課		基礎・基盤研究課長 西山 崇志
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月26日閣議決定) 「経済財政運営と改革の基本方針2022 新しい資本主義へ～課題解決を成長のエンジンに変え、持続可能な経済を実現～」(骨太方針2022)(令和4年6月7日閣議決定) 新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画のフォローアップ(令和4年6月7日閣議決定) 統合イノベーション戦略2022(令和4年6月3日閣議決定)		
政策	8 知のフロンティアを開拓し価値創造の源泉となる研究力の強化			主要経費	科学技術振興費		
施策	8-2 基礎研究・学術研究の振興						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221012-mxt_kanseisk01-000024706-04.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	国際的な頭脳獲得競争の激化する中、優れた研究人材が世界中から集う”国際頭脳循環のハブ”となる研究拠点の更なる強化が必須であり、そのために、高度に国際化された研究環境と世界トップレベルの研究水準を誇る「目に見える国際頭脳循環拠点」を形成する。						
現状・課題 (5行程度以内)	国際的な頭脳獲得競争が激化する中、優れた研究人材が世界中から集う”国際頭脳循環のハブ”となる研究拠点の更なる強化が必要不可欠。WPI開始から15年間を経て、世界トップクラスの機関と並ぶ、卓越した研究力と優れた国際研究環境を有する世界から「目に見える拠点」を構築。大学等に研究マネジメントや国際研究環境の構築手法等のグッドプラクティスが蓄積し、WPIは極めて高い実績とレピュテーションを有している。						
事業概要 (5行程度以内)	本プログラムは、大学等研究機関を対象とし、優れた研究者の物理的集合を構築するとともに、既存の制度にとらわれない優れた研究環境を実現するための措置に対して、1拠点当たり原則年間7億円(平成19、22年度採択拠点については年間13～14億円程度)を上限とする支援を10年間行う。したがって、研究資金の提供を主たる目的とするプログラムとは全く性質の異なるものであり、研究資金の別途確保が求められる。世界トップレベルの研究拠点形成を図る中核機関(以下、「ホスト機関」という。)には、当該拠点が真に「世界トップレベル研究拠点」となり、支援終了後に自立化するよう、当該拠点をホスト機関の中長期的な計画上に明確に位置付けた上で、助成期間中から機関を挙げて全面的な支援を行うことを求めている。本補助金は機関に対する定額補助となっている。						
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/content/20220509-mxt_kiso-100000476_1.pdf						
実施方法	補助						
補助率等	大学・研究機関が実施する、世界トップレベルの研究水準を誇る国際研究拠点を形成するための措置に対して補助。【補助率：100%】(補助上限額：原則7億円)						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	5,871	6,100	6,100	7,088	7,160
		補正予算(B)	-	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	155	270	1,035	-
		翌年度へ繰越し(D)	▲ 155	▲ 270	▲ 1,035	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	5,716	5,985	5,335	8,123	7,160	
	執行額(G)		5,714	5,983	5,335		
	執行率(%) =(G)/(F)		100%	100%	100%		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		97%	98%	87%		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	研究振興費			各拠点に対する進捗管理を新型コロナウイルス感染症拡大前の方法に戻すための経費。 (要求額のうち「重要政策推進枠」:72百万円)		
	(目)	国際研究拠点形成促進事業費補助金	7,085	7,157			
	(目)	職員旅費	3	3			
	(目)	庁費	0.1	0			
		その他	▲ 0	▲ 0			
	計(A)		7,088	7,160			

活動内容① (アクティビティ)		大学等を対象に、高度に国際化された研究環境と世界トップレベルの研究水準を誇る「目に見える国際頭脳循環拠点」を形成するため、優れた研究者の物理的集合を構築するとともに、既存の制度にとらわれない優れた研究環境を実現するための措置に対し補助を行う。									
↓											
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		拠点に研究者を集合させる。	主任研究者数	活動実績	人	155	173	131	130	130	
				当初見込み	人	90	100	80	80	80	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	目に見える研究拠点の形成のためには、国内外から一定以上の人数が物理的に集合することが必要であることから、主任研究者(教授、准教授相当)の人数が7人～10人あるいはそれ以上(平成19年、22年度採択拠点は10～20 人あるいはそれ以上)であることを活動指標に設定した。 10年間にわたる中長期的な一貫したビジョンの下、国内外から第一線の研究者が物理的に集まる、アンダーワンルーフ型の優れた研究環境を実現するための財政的支援を行うことにより、優れた研究環境と高い研究水準を誇る世界トップレベルの研究拠点を形成することを長期アウトカムに設定した。									
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5 年度		
		国内外から第一線の研究者を引き付け、優れた研究環境と高い研究水準を誇る世界トップレベルの研究拠点を形成する。	10年間の支援を行い、WPIプログラム委員会内において「世界トップレベル(World Premier Status)」と評価された拠点の数	成果実績	拠点数	6	9	9	9		
				目標値	拠点数	6	9	9	9		
				達成度	%	100	100	100	100		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		文部科学省調べ									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		—									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
		10年間にわたる中長期的な一貫したビジョンの下で財政的支援を行う事業であり、1～2年で成果が創出される事業でないことから、長期アウトカムのみ記載している。									

活動内容② (アクティビティ)		大学等を対象に、高度に国際化された研究環境と世界トップレベルの研究水準を誇る「目に見える国際頭脳循環拠点」を形成するため、優れた研究者の物理的集合を構築するとともに、既存の制度にとられない優れた研究環境を実現するための措置に対し補助を行う。								
↓										
活動目標及び活動実績② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		高度に国際化された研究環境を整備する。	研究者に占める外国人研究者の割合	活動実績	%	41	39	35	40	40
				当初見込み	%	30	30	30	30	30
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	国際的な研究拠点を形成するためには、一定割合以上の外国人研究者が拠点到参画していることが必要であることから、WPI有識者会議での議論も踏まえ、外国人研究者の割合が30%以上であることを活動指標に設定した。 10年間にわたる中長期的な一貫したビジョンの下、国内外から第一線の研究者が物理的に集まる、アンダーワンルーフ型の優れた研究環境を実現するための財政的支援を行うことにより、優れた研究環境と高い研究水準を誇る世界トップレベルの研究拠点を形成することを長期アウトカムに設定した。								
成果目標及び成果実績②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5年度	
		国内外から第一線の研究者を引き付け、優れた研究環境と高い研究水準を誇る世界トップレベルの研究拠点を形成する。	10年間の支援を行ったWPI拠点における国際共著論文率	成果実績	%	61	65			
				目標値	%	50	50		50	
				達成度	%	122	130	-		
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		文部科学省調べ								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
		10年間にわたる中長期的な一貫したビジョンの下で財政的支援を行う事業であり、1～2年で成果が創出される事業でないことから、長期アウトカムのみ記載している。								

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

※令和4年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

文部科学省
5,335百万円

職員旅費 1百万円 を含む

世界的な著名研究者を拠点長として位置付け、その下に高いレベルの研究者が集集する、優れた研究環境と高い研究水準を誇る世界トップレベルの研究拠点を形成することを目指す。

【補助金等交付】

A. 世界トップレベル研究拠点プログラム事業
国立大学法人等
8件：4,735百万円

採択された大学へ、世界トップレベルの「目に見える」研究拠点の形成に必要な補助金を交付する。

【補助金等交付】

B. 世界トップレベル研究拠点プログラム支援事業
独立行政法人
日本学術振興会
597百万円

我が国全体の将来的な科学技術水準の一層の向上を図るため、我が国全体を国際頭脳循環の一極に位置付けることを目的として、大学等の研究機関の運営やそれ等を対象とした国の補助事業に精通した機関に対し、必要な補助金を交付し、WPIプログラムの実施に係る総合的支援を行う。

費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			B.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
設備備品費等費	研究施設 設備備品	545	事業推進費	プログラムディレクター等への謝金、会議開催に要する経費等	477
人件費	拠点長、事務部門長及び主任研究者等給与	156	人件費	担当者給与	106
事業推進費	招へい研究者の研究環境整備のための経費、国際シンポジウム開催等	44	旅費	拠点訪問等に要する旅費	14
旅費	学会への出席に伴う国内旅費、外国旅費、招へい旅費、赴任旅費等	15			
計		760	計		597

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構	4050005005267	量子場計測システム国際拠点	760	補助金等交付	-	-	-
2	国立大学法人東京大学	5010005007398	ニューロインテリジェンス国際研究機構	755	補助金等交付	-	-	-
3	国立大学法人金沢大学	2220005002604	ナノ生命科学研究所	726	補助金等交付	-	-	-
4	国立大学法人北海道大学	6430005004014	化学反応創成研究拠点	700	補助金等交付	-	-	-
5	国立大学法人京都大学	3130005005532	ヒト生物学高等研究拠点	700	補助金等交付	-	-	-
6	国立大学法人大阪大学	4120905002554	ヒューマン・メタバース疾患研究拠点	582	補助金等交付	-	-	-
7	国立大学法人広島大学	1240005004054	持続可能性に寄与するキラルノット超物質拠点	423	補助金等交付	-	-	-
8	慶應義塾	4010405001654	ヒト生物学・微生物叢・量子計算研究センター	90	補助金等交付	-	-	-

B

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	独立行政法人日本学術振興会	1010005006890	WPIに係る総合支援業務	597	補助金等交付	-	-	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	